

## 日本核物質管理学会会長 直井 洋介 挨拶



平素より、日本核物質管理学会の活動にご協力・ご支援を賜りましてありがとうございます。2022年10月より、齊藤正樹前会長を引き継ぎまして会長に就任いたしました JAEA の直井です。1977年の日本支部創設以来45年間に渡りこの学会活動を支えてくださった諸先輩方に恥ずかしくないよう、努力して参る所存ですので、皆様どうぞよろしくお願いたします。

さて、2022年2月のロシアのウクライナ侵攻で、ロシアによる核兵器使用の威嚇や運転中の原子力発電所への武力攻撃などショッキングな出来事が続けざまに発生しました。いまだに収束の見通しも立たない厳しい状況下であり、我々に一体何ができるかを考える時に無力感は否めません。早く戦争が終わることを祈るばかりです。

一方で、ロシアへの天然ガスなどのエネルギー依存から脱却を目指すべく、自国のエネルギー安全保障を見直す動きが世界的に加速しています。日本においても原子力を見直す動きが出てきました。原子力平和利用の推進には、しっかりと核物質管理が大前提であり、当学会が担う役割はこれまでと変わらず、重要であり続けると考えております。

新たな学会活動について少し紹介をさせていただきます。広報活動の強化を目指して昨年広報委員会を立ち上げ、時報やホームページによる広報活動に加えてニュースレターを発行することとしました。また、新しい学会のロゴも制定しました。さらに、ベテラン会員がその優れた経験・知識を活かして、核物質等の管理における「技術伝承」、「知識管理」、「次世代人材育成」を支援するためのプラットフォームとして、「メンター部会」を設立して活動を開始しました。これからも、知恵を絞って学会活動の活性化と効果的・効率的な核物質管理の向上に努めて参りたいと考えております。皆様からのご意見・ご要望をお聞かせ願えれば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

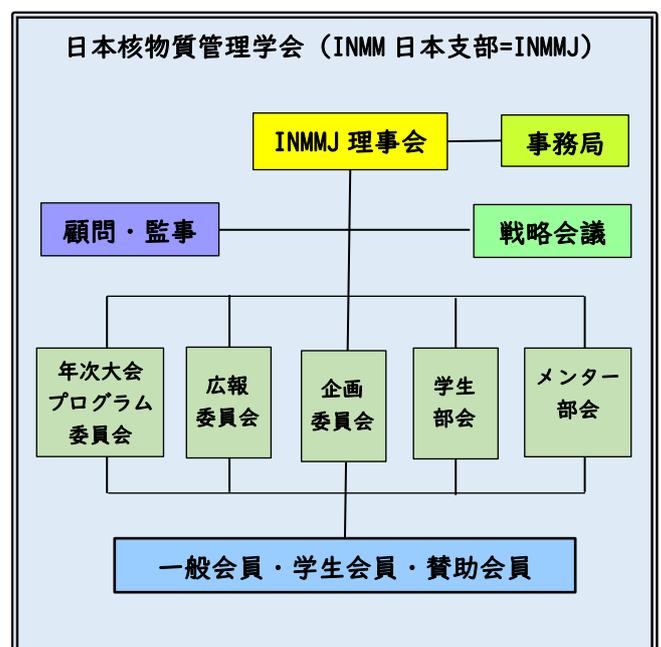
## 理事・顧問等 (2023年度)

役名	氏名	所属等
会長	直井 洋介	日本原子力研究開発機構
副会長	坪井 裕	株式会社 島津製作所
庶務理事	森 鐘太郎	日本原燃株式会社
会計理事	長嶺 徹	日本原子力発電株式会社
理事	金子 英明	元日本原子力防護システム株式会社
理事	後藤 晃	中部電力株式会社
理事	池上 雅子	東京工業大学
理事	相楽 洋	東京工業大学
理事	出町 和之	東京大学
理事	井上 尚子	日本原子力研究開発機構
理事	浅野 隆	日本原子力研究開発機構
理事	加納 正規	日本原燃株式会社
前会長	齊藤 正樹	東京工業大学 名誉教授
顧問	千崎 雅生	元日本核物質管理学会会長
顧問	藤巻 和範	元日本核物質管理学会理事
監事	増田 學	元日本核物質管理学会理事

### 目次

日本核物質管理学会 2023年度新体制の紹介	1
第43回日本核物質管理学会年次大会のお知らせ	2
INMMの2023年度方針	3
学会からのお知らせ	3
パリ便り、会員コーナー、INMM/INMMJ コーナー	4

## 組織図 (2022年10月1日現在)



本資料は日本核物質管理学会の活動を幅広く発信し相互コミュニケーションの場を提供する広報誌です。右のQRコードにアクセスしてアンケートにご回答頂きますようお願い致します。



## 第 43 回日本核物質管理学会年次大会開催のお知らせ



第 39 回年次大会の様子



第 42 回年次大会（オンライン開催）の様子

第 43 回年次大会は、11 月 21-22 日の 2 日間開催されます。今回は初の試みとして、対面とオンラインを併用し、招待講演、口頭発表、ポスター発表を開催します。対面に加え、オンライン会議の機能を最大限活用して、国内外からの発表や参加者同士が気軽に自由に交流できる場を数多く提供して参ります。

開会セッションでは、IAEA 東京地域事務所所長 Michael Farnitano 氏による招待講演、および同志社大学教授 浅田正彦氏から「ウクライナ戦争と第 10 回 NPT 再検討会議」と題した招待講演をいただきます。また、日本原子力研究開発機構山口知輝氏よりウクライナにおける原子力発電所に関するご講演をいただきます。

2 日目午後には、2022 年に多くの動きがあった核燃料の輸送に関するシリーズ講演を行います。まず日本核物質管理学会元会長 千崎雅生氏から、あかつき丸のプルトニウム海上輸送について過去のご経験に基づいたご講演をいただきます。次に、京都大学教授 宇根崎博信氏から京都大学における核燃料について、東京大学特任教授 鈴木美寿氏から東京大学弥生炉の核燃料輸送について、2022 年に実施された最新のご経験に基づいてご講演をいただきます。さらに特別講演として日本核物質管理学会前会長 齊藤正樹氏から、「日本のプルトニウム政策の課題と提言—「原子力平和利用と核不拡散の両立」の深化に向けて—」と題してご講演いただきます。

各発表では、保障措置・核不拡散性、非破壊測定技術、核セキュリティ・人材育成、非核化政策、核不拡散・危機管理政策、若手・学生ポスターの 6 セッション、計 37 件を予定しています。口頭発表セッションでは、発表者は現地もしくはオンラインからお好きな形式を選んで発表が可能となり、国内外の場所を問わず簡単に参加する場を提供します。また、ポスターセッションでは、発表者は対面で少数同士の深い議論ができるポスター発表の長所をそのままに、オンラインからの質問者との対話も可能な、新たなハイブリッド形式のポスター発表を導入します。また、大会期間の 2 日間に渡り企業 PR ルームを現地・オンライン双方にまたがり常設し、より多くの参加者の訪問が見込まれる企画や、現地開催の大きな利点である参加者全員と交流できる意見交換会を企画しています。

会議論文はピアレビューを受け査読付会議論文として発行されます。優秀な論文、および若手・学生発表は、厳正な論文審査、参加者全員による発表審査の上、表彰されます。本大会を単に成果発表の場とするだけでなく、最新情報の収集、専門家との意見交換、異なる世代間の交流、ビジネスシーズの発掘の場にもなるようにして参ります。

### 第 43 回日本核物質管理学会年次大会のご案内

開催日：2022 年 11 月 21 日（月）・22 日（火）

開催場所：東京工業大学大岡山キャンパス＋オンライン併催 (Zoom) (予定)

参加費：会員 8,000 円 (エルダー制度資格者 4,000 円)

非会員 10,000 円

賛助会員 8,000 円 (但し、ご入会 1 口につき 1 名限り)、

学生無料

#### 参加申込方法：

日本核物質管理学会ホームページ (<https://www.inmmj.org/>) から「日本核物質管理学会第 43 回年次大会申込フォーム」ボタンをクリックし登録願います。

なお、上記で登録できない場合、申込書に記載の上、E-mail にて事務局まで送付願います。

送付先：[am043-sanka@inmmj.org](mailto:am043-sanka@inmmj.org) (事務局のアドレスとは異なりますのでご注意願います)

参加申込を頂いた皆様には、開催前に Web 会議参加用アクセスコード (URL、ID、パスワード等) をご連絡いたします。(注) 参加は参加申込みご本人に限定します。(賛助会員を除く)

詳細は日本核物質管理学会ウェブサイト (<https://www.inmmj.org/>) 「年次大会」ページへ

プログラム委員長 相楽 洋



The INMM's 63rd INMM Annual Meeting was held virtually July 24-28. It began with the Awards Ceremony and President's Reception on July 24 and included the Opening Plenary on July 25 and the Closing Plenary on July 28. The President's Reception consisted of several INMM leaders talking about significant INMM achievements that occurred over the past year. These achievements included the new INMM Strategic Plan, the proposal from the International Safeguards Division for an International Safeguards Certification program, the INMM's Diversity, Equity, Inclusion and Accessibility (DEIA) Committee, the INMM Professional Development Program, and the tiered pricing policy for membership. Following these presentations, we created some opportunities for some socializing and networking by setting up Zoom rooms where meeting participants could network and renew acquaintances.

The Opening Plenary featured the following speakers:

- Marcia Ore, Diversity, Equity, and Inclusion Consultant
- Lars van Dassen, Executive Director, World Institute for Nuclear Security
- Jeff Navin, Director of External Affairs at TerraPower

The Closing Plenary featured the following speakers:

- Dominique Mouillot, President of Women in Nuclear - Global
- H.E. Gustavo Zlauvinen, President-designate of the Tenth Review Conference for the Nuclear Non-Proliferation Treaty (NPT)
- Alexander Kmentt, Director of the Disarmament, Arms Control and Non-Proliferation Department, Austrian Foreign Ministry and President of the June 2022 First Meeting of States Parties to the Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons (TPNW)

This year's meeting included a number of special sessions, including:

- A panel discussion on the history and evolution of the Asia-Pacific Safeguards Network
- The Women of Mass Distinction event featuring Maria Naydenova, Program Manager of the IAEA Marie Sklodowska-Curie Fellowship Program (MSCFP), and four MSCFP scholarship recipients
- The UF6 Container Identification hackathon sponsored by the Data Science Working Group of the Cyber and Emerging Technologies Committee

Save the date, May 22-26, 2023 for the 2nd INMM/ESARDA Annual Meeting, which will be held in Vienna, Austria, at the Austria Centre. The theme for the 2023 meeting is Atoms for Peace – Evolution of Technologies for the Future, and the call for papers will be released in mid-September.

## 学会からのお知らせ

### 1. 2023年度年会費額について

「本部年会費額 (INMMJ から本部への支払額)」

INMM の 2023 年度年会費額は、米国の物価上昇等により、値上げ (\$125→\$150) されました。

- \* 一般会員 \$ 150/会員 (値上げ)
- \* 学生会員 \$ 35/会員 (変更なし)
- \* 名誉会員 \$ 40/会員 (変更なし)

上記本部の決定、および円安動向を鑑み、2023年度の INMMJ の年会費は以下の通りとします。

(不足分は 2023 年度予算より補充)

「2023 年度 INMMJ 年会費額」

- \* 一般会員：¥ 15,000/会員 (値上げ)
- \* 学生会員：¥ 3,000/会員 (変更なし)
- \* 名誉会員：¥ 5,000/会員 (変更なし)
- \* 賛助会員：¥ 100,000/口 (変更なし)

日本核物質管理学会として、年会費軽減方策について検討および議論を重ねた結果、米国本部承認手続きを要する会則改訂により対応する必要があるとの結論から、米国本部関係者と協議しておりますが、その実現にはしばらく時間がかかります。つきましては、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

### 2. 主なイベント

「本部年次大会」

2023 年度は、ESARDA との共催のためオーストリアで 5 月開催となります。

「INMM/ESARDA 2023 Joint Annual Meeting」

2023 年 5 月 22 日～26 日

The Austria Centre Vienna, Austria

### 3. 核物質管理時報

第十三報「核セキュリティ文化の醸成の現状と今後」を発行しました。(事務局)

## パリ便り



2022年4月に経済協力開発機構（OECD）の原子力機関（NEA）に着任しました。IAEAとは違って日本核物質管理学会の皆様には馴染の薄い国際機関だと思えますが、私の担当も今までやってきた保障措置とは全く異なる分野となっています。パリで先ず苦労したのはアパート探し。実はウィーンとワシントンDCでも暮らした経験があるのですが、その2都市と比べても格段に制約が大きく、狭い、古い、高い、厳しい支払能力証明、さらにはNEA日本人職員全員が水回りのトラブルに遭遇、頻発するストライキへの配慮が必要といった話もあり、結局住み始めるまで2か月、しかしその甲斐もあり遠くにエッフェル塔が見えるアパートを見つけることができました。次に印象深いのが歩行者の交通マナー。概して海外では日本のように生真面目に信号を守る人は少ないのですが、パリでは歩行者は自己判断で道路を横断しており、歩行者用信号はその機能を全く果たしていません。そのせいかドライバーも常に歩行者には注意を払っており、日本の様に信号のない横断歩道で歩行者がいつまでも渡れるのを待つことなどありません。運転が荒いことで有名なパリのドライバーは実は歩行者には優しいのだと感じています。

(OECD/NEA 蛭田 一彦)



## 会員コーナー



青森県に暮らしていると温泉がとても身近になってきます。どの町に行っても温泉施設をみかけるほど。その中から奥入瀬渓流にも近い奥座敷・南八甲田の中腹にたたずみ、四季を通じて豊かな自然の中にある蕨温泉を紹介します。

蕨温泉は、浴槽から梁までの高さが最頂部で12メートルと開放感があり、静かな空間を持つ温泉です。源泉の上に浴槽があり、湯船の底板から湧き出す空気に触れていない源泉が楽しめます。温泉に浸かり、静寂の中で歴史を感じつつ、足元からポコポコと湧き上がる源泉を味わいつつ豊かな時間を満喫すると日頃のストレスを解消出来ますので是非一度訪れてみて下さい。（日本原燃 小谷 美樹）



東京工業大学原子核工学コース修士1年の東知希です。大学院ではシリサイド燃料(ATF)を用いた中小型沸騰水型軽水炉の安全・核不拡散性評価と回収ウランの効果について研究しています。原子炉の性能と経済性を改善する可能性のあるシリサイド燃料を将来日本の軽水炉でも利用されることも目標に研究に取り組んでいます。9月2日に学生部会で柏崎刈羽原子力発電所の見学会に参加しました。施設見学では自身の研究だけでなく将来のキャリアを考える上で良い経験となりました。11月の年次大会では会員の皆様と議論できることを楽しみにしております。

(東京工業大学 東 知希)

## 2023年度（2022/10～2023/9）スケジュール

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
理事会			★			★			★			★
戦略会議		★			★			★			★	
企画委員会			★			★			★			★
プログラム委員会		★			★			★			★	
広報委員会	★			★			★			★		
年次大会		日本						本部				
Newsletter	Vol.5			Vol.6			Vol.7			Vol.8		
その他				Workshop								

## 編集後記

10月より学会は2023年度となり、直井新会長以下選出された理事・顧問等の下で活動を開始しました。一般会員、学生会員、および賛助会員の皆様に少しでもお役に立てる紙面としたいと考えていますので、宜しくお願い致します。（広報委員長 金子 英明）

編集・発行：日本核物質管理学会  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2-3  
日比谷国際ビル2階220号室  
TEL:03-6371-5830, 5835  
E-Mail:jimukyoku@inmmj.org <https://www.inmmj.org/>